

平成31（2019）年度

東京大学大学院工学系研究科

システム創成学専攻

専攻入試案内書

2019 Guide to Entrance Examinations
Master's/Doctoral Program
Department of Systems Innovation

Graduate School of Engineering, The University of Tokyo

修士課程
博士後期課程

問い合わせ先

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院工学系研究科
システム創成学専攻事務室（工学部3号館2階225号室）
電話（03）5841-6533，FAX（03）5841-0652

専攻ホームページ <http://www.sys.t.u-tokyo.ac.jp>

**平成31 (2019) 年度
東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻
修士課程 入試案内**

この案内書は平成31 (2019) 年度東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項を補足するものである。この案内書には工学系研究科受験者全員を対象とした『受験者心得』も掲載されているので熟読すること。

1. 入学試験

(1) 試験科目および日程

日 程	科 目・試 験 時 間		備 考	
8月27日 (月)	9:00~11:30 外 国 語 (TOEFL ITP®) (注1)	13:00~15:30 論理的思考能力を見るため の数理的問題 (専門科目) (注2)	16:30~18:00 小 論 文 (専門科目)	修士志願者 全員受験
8月28日 (火)	9:00~ 口 述 試 験			

(注1) 出願時にTOEFL iBT®又はTOEFL PBT®の公式スコアを提出することによって外国語試験 (TOEFL ITP®) の代替とすることができる。必ず、「平成31(2019)年度東京大学大学院工学系研究科大学院入学試験外国語 (英語) 試験に関するお知らせ (修士課程)」を参照すること。なお、公式スコアを提出した場合は、TOEFL ITP®を受験することはできない。

(注2) 問題の一部に、工学系研究科一般教育科目の数学の問題を使用する。一般教育科目の過去問は、次のサイトに掲載されている。
http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general_past.html

(2) 試験場所

- (イ) 筆記試験：試験場所は8月24日 (金) に、工学系研究科掲示板 (工学部8号館前) ならびに本専攻掲示板 (工学部3号館2階) に掲示する。また、本専攻ホームページに掲示する。
- (ロ) 口述試験：時間割、および試験場所については8月27日 (月) の小論文試験終了後に、本専攻掲示板 (工学部3号館2階) に掲示する。

(3) 注意事項

- (イ) 筆記試験の全科目および口述試験は必須である。
- (ロ) 筆記試験は試験開始時刻の15分前までに、試験場所に入場すること。
- (ハ) 筆記試験では黒色鉛筆 (又はシャープペンシル) ・消しゴム・鉛筆削り (卓上式は不可) ・時計 (計時機能だけのもの) 以外の使用は認めない。

2. 志望指導教員の申告票

システム創成学専攻における指導教員および研究分野の一覧表 (p. 6~7) に基づき、本冊子 (p. 2) の「志望指導教員の申告票」を記入の上、7月27日 (金) までにシステム創成学専攻事務室 (工学部3号館2階225号室) に提出すること。「入学願書」等とは提出の時期と場所が違うので注意すること。

3. その他

- (1) 2018年9月の入学を認める場合がある。9月入学のための資格等の詳細は、平成31 (2019) 年度東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項第1項の出願資格を確認すること。9月入学を希望する者のうち、2018年9月21日から9月30日までの間に出席資格を満たす者は下記連絡先に問い合わせること。

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院工学系研究科学務課大学院チーム
電話 03(5841)6038、7747

- (2) その他詳細については、表紙 (および裏表紙) に記載のシステム創成学専攻事務室に問い合わせること。

以上

志望指導教員の申告票

[システム創成学専攻（修士課程）]

本ページをコピーしたものに必要事項を記入して、2018年7月27日（金）までにシステム創成学専攻事務室（工学部3号館2階225号室）に提出すること。（郵送の場合は、システム創成学専攻事務室宛に送付すること。上記期日必着とする。）

ふりがな 氏名	
出身大学・学部	
連絡先住所 電話番号	〒 電話番号：
携帯電話 (緊急連絡が可能な番号)	
メールアドレス	

- (1) 本冊子に添付されている「指導教員・研究分野一覧」を参照し、志望の順に教員番号を下表に記入すること。
- (2) 教員番号は、最大10位まで記入することができる。無記入の順位については、志望教員を特定していないものとみなす。
- (3) 第一志望をできるだけ満足するように教員への学生配属を行うが、第二志望以下の教員に配属されることもある。
- (4) 教員ごとに受入れ可能人数が決められているので、志望が集中する指導教員だけを志望した場合は、記入した番号以外の教員に配属される可能性がある。その場合の選択肢の□欄に、必ず✓を記入すること。

志望順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
教員番号										

いずれかの□に✓を記入すること。

- 上表に記入した教員番号以外の指導教員に配属される場合でも、入学を希望する。
- 上表に記入した教員番号以外の指導教員に配属される場合は、合格を辞退する。

**平成31（2019）年度
東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻
博士後期課程（出願日程A）入試案内**

この案内書は平成31（2019）年度東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項を補足するものである。この案内書には工学系研究科受験者全員を対象とした『受験者心得』も掲載されているので熟読すること。

1. 第1次試験

(1) 試験科目および日程

日 程	科 目・試 験 時 間			備 考
8月27日 (月)	9:00~11:30 外国語 (TOEFL ITP®)	13:00~15:30 論理的思考能力を見るための 数理的問題 (専門学術)	16:30~18:00 小論文 (専門学術)	左記筆記試験については (注1)、(注2) (注3)、(注4) を参照
8月29日 (水)	9:00~ 口述試験 (1人30分程度)			博士志願者 全員受験

(注1) 出願時にTOEFL iBT®又はTOEFL PBT®の公式スコアを提出することによって外国語試験（TOEFL ITP®）の代替とすることができる。必ず、「平成31(2019)年度東京大学大学院工学系研究科大学院入学試験外国語（英語）試験に関するお知らせ（博士後期課程）」を参照すること。なお、公式スコアを提出した場合は、TOEFL ITP®を受験することはできない。

(注2) 問題の一部に、工学系研究科一般教育科目の数学の問題を使用する。一般教育科目の過去問は、次のサイトに掲載されている。
http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general_past.html

(注3) 本学の修士または専門職の学位を授与された者、または学位を得る見込みの者に対しては、外国語試験を省略する。

(注4) 本学工学系研究科の修士または専門職の学位を得た者、または学位を得る見込みの者に対しては、外国語、論理的思考能力を見るための数理的問題、および小論文の試験を省略する。本学新領域創成科学研究科、情報理工学系研究科および学際情報学府において修士または専門職の学位を得た者、または学位を得る見込みの者についても、同様に当該試験を省略する。

(2) 試験場所

(イ) 筆記試験：試験場所は8月24日（金）に、工学系研究科掲示板（工学部8号館前）ならびに本専攻掲示板（工学部3号館2階）に掲示する。また、本専攻ホームページに掲示する。

(ロ) 口述試験：時間割、および試験場所については8月27日（月）に、本専攻掲示板（工学部3号館2階）に掲示する。

(3) 注意事項

(イ) 筆記試験は試験開始時刻の15分前までに、試験場所に入場すること。

(ロ) 筆記試験では黒色鉛筆（又はシャープペンシル）・消しゴム・鉛筆削り（卓上式は不可）・時計（計時機能だけのもの）以外の使用は認めない。

(4) 口述試験について

(イ) 口述試験は修士論文の研究、修士論文として予定している研究、または修士論文に相当する研究、ならびに博士課程での研究構想について発表を行い、専門分野の学術知識、博士課程への準備状況、研究遂行能力等につき試問するものである。

(ロ) 発表資料20部を当日持参すること。

(ハ) 口述試験の会場では、PCプロジェクターが利用できる。

(ニ) 9月入学希望者、既に修士または専門職の学位を有する者（平成30年9月末日までに取得見込みの者を含む）については、今回の口述試験が第2次試験を兼ねる。

2. 提出書類

東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項第7項の提出書類に加えて、以下の書類を指定された期日までにシステム創成学専攻事務室まで提出すること。なお、これらの書類の作成にあたっては、志望指導教員と十分に相談すること。

(1) 本冊子 (p.5) の「志望指導教員の申告票」(提出締め切り:7月20日(金))。

(2) 第1次試験のみの対象者(口述試験が第1次試験である者)

提出締め切り:8月17日(金)

① 現在までの研究概要をまとめた要旨(A4判で4頁)1部

② 博士論文計画の構想(A4判で1頁程度)1部

(3) 第2次試験の対象者(口述試験が第2次試験を兼ねる者)

提出締め切り:8月17日(金)

① 現在までの研究概要と博士課程での研究構想をまとめた要旨(A4判で6頁)1部

② 修士論文(またはそれに相当する研究業績を示す資料)1部

③ 研究業績リスト1部

注1) 提出する要旨の様式は、各自が所属する学会の講演予稿集の形式に準ずる。片面印刷として、ホッチキスで綴じていない原稿を提出すること。

注2) 研究業績は、学会誌研究論文、総説・解説論文、口頭発表、その他の項目に分けて示すこと。

3. 第2次試験

(1) 第1次試験合格者(ただし1.(4)(二)に記載された条件を満たす者を除く)に対しては、第2次試験として、平成31年1月下旬から2月中旬に口述試験を行う。

(2) 期日、試問に必要な資料等の詳細は追って通知する。

4. その他

(1) 出願日程Bによる試験は実施しない。

(2) 2018年9月の入学を認める場合がある。9月入学のための資格等の詳細は、平成31(2019)年度東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項第1項の出願資格を確認すること。9月入学を希望する者のうち、2018年9月21日から9月30日までの間に出席資格を満たす者は下記連絡先に問い合わせること。

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院工学系研究科学務課大学院チーム

電話 03(5841)6038、7747

(3) その他詳細については、表紙(および裏表紙)に記載のシステム創成学専攻事務室に問い合わせること。

以上

志望指導教員の申告票

[システム創成学専攻（博士後期課程／出願日程A）]

本ページをコピーしたものに必要事項を記入し、2018年7月20日（金）までにシステム創成学専攻事務室（工学部3号館2階225号室）に提出すること。（郵送の場合は、システム創成学専攻事務室宛に送付すること。上記期日必着とする。）

ふりがな 氏名	
出身大学・大学院	
連絡先住所 電話番号	〒 電話番号：
携帯電話	
メールアドレス	

志望指導教員

志望する指導教員名を記入すること。

--

システム創成学専攻 指導教員・研究分野一覧 (1/2) ※50音順

教員番号	指導教員	研究分野
1	青山 和浩 教授	システムのデザインとマネジメントに関する研究. 社会システム, 製品システム, サービスシステム, 生産システム, 物流システムなどのシステムを研究対象. システムのデザインにおけるシステムモデリングを研究. システムモデルを利用したシステムマネジメントの手法を研究.
2	和泉 潔 教授	①金融情報学: 人工市場シミュレーション, 金融テキストマイニング, 金融への人工知能応用. ②経工連携研究: 顧客データ分析, 位置情報付 twitter データ分析, 購買シミュレーション. 配属希望者は http://kinba.sakura.ne.jp を参照すること.
3	大澤 幸生 教授	①サービス, 製造業など各種の市場データ, 自然現象, コミュニケーションログ等のデータからビジネスチャンスを発見する技術, ②データの結合・利活用のアイデアを生み出すデータ市場を設計し, そこでビジネスイノベーションを実現する認知・思考・コミュニケーション, 意思決定の技術.
4	岡部 洋二 准教授 (生産技術研究所)	航空機や自動車などの先進的複合材料構造を対象とした健全性診断に関する研究, 構造ヘルスマニタリングシステム, 非破壊検査技術, 遠隔診断用の光ファイバ超音波センサシステム, 超音波ガイド波を用いた内部損傷検出法, レーザー超音波法, 非線形超音波法, AE 計測法.
5	沖田 泰良 准教授 (人工物工学研究センター)	結晶性材料を対象としたマルチスケールシミュレーション(分子動力学, モンテカルロ法など), 分子動力学-有限要素連成解析を用いた固体材料のメソスケール現象解明, 材質劣化検出のための非破壊検査技術開発, 検査技術と計算科学の融合による人工物デジタルツイン構築.
6	加藤 泰浩 教授 (エネルギー・資源 フロンティアセンター)	レアアース・レアメタル資源の成因の解明と探査手法への応用・資源政策の提案, フロンティア(深海底および宇宙)資源の発見, 地球科学データ解析によるグローバル環境変動・物質循環の解明, 地球温暖化メカニズムの解明とグローバル環境対策の立案.
7	川畑 友弥 准教授	液化天然ガスの次世代サプライチェーン最適化と輸送・貯槽システムの構築及び信頼性研究. 最先端数値シミュレーション技術・実験観察技術を組み合わせた破壊機構解明と材料ナノスケール組織設計. 建築・土木構造物の大地震時健全性を実現する先進材料を用いた最適設計.
8	菅野 太郎 准教授	認知システム工学(人間中心のシステムデザイン&マネジメント): チーム協調・組織連携モデリング&シミュレーション, 認知データ分析, 医療・看護・航空・危機対応などにおけるヒューマンファクタ・システムデザインと教育訓練支援, 社会技術システムのレジリエンス評価, 等.
9	北澤 大輔 准教授 (生産技術研究所)	海洋生態系工学. 海洋生態系と調和した海洋利用. 海洋食料生産システムの省エネ・省力・省人化. 海洋再生可能エネルギーを利用したハイブリッド船. 海洋構造物の環境影響評価. 柔軟構造物の水槽模型実験. 流れ場・生態系結合数値モデルによる環境シミュレーション.
10	合田 隆 准教授	数値計算法(特にモンテカルロ法・準モンテカルロ法・マルチレベルモンテカルロ法)の理論と応用, 不確実性定量評価, 大域的感度分析, 意思決定論・情報の価値分析, その他関連する応用数学・統計学.
11	越塚 誠一 教授	流体の粒子法シミュレーション(高精度化, 高速化, 混相流, 雪), 人の役に立つシミュレーション(津波, 溢水, 企業との共同研究, 攪拌槽, 複合材料, キャピテーション), 物理ベースコンピュータグラフィックス(可視化, リアルタイム, ポジションベース), シミュレーションの信頼性向上.
12	小林 肇 准教授	微生物共生を利用したエネルギー変換・生産(エネルギー・資源分野の新バイオ技術系の創出), 電気化学的共生システムによるバイオガス生産(二酸化炭素のメタン変換, 水素生産), 資源開発の環境調和促進(微生物電極を利用した鉱業排水処理).
13	佐藤 光三 教授 (エネルギー・資源 フロンティアセンター)	持続型炭素循環システム(CCS, CO ₂ 地中貯留とバイオ変換, モニタリング, 環境影響評価), エネルギー資源開発と不確実性の工学(情報の価値と意思決定, EOR/IOR), 非在来型資源開発のためのシミュレーション(シェールガス, FDM・BEM・CIP・LBM・MD).
14	柴崎 隆一 准教授	グローバル・ロジスティクス・ネットワーク下のモデリングと政策シミュレーション: 地球規模の国際物流シミュレーション, 大規模船舶動静データに基づく国際物流予測, 国際貿易と物流の連続モデルなど. モデルを活用した世界各国のロジスティクス施策/インフラ政策の分析シミュレーション.
15	柴田 和也 准教授	数値シミュレーションによる現象解明とデザインの最適化, シミュレーションを活用した新たなシステムの開発, 船舶と海洋構造物に加わる流体力に関する数値シミュレーション, 沿岸域の津波シミュレーション, 防災・減災のための工学, 安全性の評価手法の開発, 粒子法.
16	柴沼 一樹 准教授	破壊/損傷の革新的モデル化理論の構築: 破壊現象の究明と応用展開, 経年劣化の高精度予測手法とメンテナンス理論, マルチスケールを統合する新しい物理モデル理論, 橋梁・自動車・船舶・飛行体などあらゆる構造物へ適用可能な普遍的な安全評価理論体系の確立.
17	島田 尚 准教授	生物や生態系, 社会・経済系などを対象とした統計物理学, 非線形科学. 特に, ①構成要素の生成・消滅があるような開放系の普遍的性質, 特に頑健性についての理論研究 ②生物・経済・社会における集団現象のシミュレーション ③生物系や社会経済系の動態の実データ解析.

システム創成学専攻 指導教員・研究分野一覧 (2/2) ※50音順

教員番号	指導教員	研究分野
18	鈴木 克幸 教授 (人工物工学研究センター)	構造力学, 計算力学を用いた大規模構造物の解析手法および最適設計手法. 船舶の安全で効率的な運用のための研究と新形式船の研究, ゴルフなどのスポーツのダイナミクス解析と用具, 運動の最適化.
19	鈴木 英之 教授	持続可能社会構築の観点から、海洋の再生可能エネルギー利用システム、とくに浮体式洋上風車システムの開発. 海洋の資源・エネルギー・空間利用のための浮体構造システムに関する、コンセプト開発、数値モデルの構築と検証、シミュレーション手法の開発、リスク解析.
20	高橋 淳 教授	熱可塑性 CFRP による量産自動車軽量化, LCA, リサイクル, FEM シミュレーション(構造最適化, 衝突安全, 歩行者保護).
21	田中 謙司 特任准教授 (技術経営戦略学専攻)	電力ネットワーク学、輸送・物流システム学, 大規模データ分析に基づく, 需要予測法やシミュレーションを用いた社会システム・サービスモデルの研究.
22	ドドビバ・ジョルジ 准教授	①選別技術の開発. ②リサイクル技術処理法のLCA比較. 各種選別等におけるリサイクル手法の差異による LCA による環境評価, 凝集剤を用いた異なる廃水処理法の LCA による評価.
23	鳥海 不二夫 准教授	計算社会科学(大規模社会データ分析, 社会シミュレーション)と人工知能技術の社会応用. ソーシャルメディア, WEB サービス, 移動・観光情報, 医療情報等を対象とし, 機械学習, 複雑ネットワーク, 自然言語処理, ゲーム理論, エージェントベースシミュレーション等の技術を用いる.
24	中村 謙太郎 准教授	①海底鉱物資源の効率的な探査手法の開発, ②高精度かつ簡便なレアメタル分析法の開発, ③様々な鉱物資源の生成機構とその背景となる地質現象の解明, ④鉱物資源を手掛かりとした, 地球表層環境と生命進化の歴史の解説.
25	西林 仁昭 教授	触媒技術に基づく新しいエネルギー資源の創成について, ①アンモニアを資源として利用する触媒技術の開発, ②資源・エネルギーの観点からの触媒反応開発. 手を動かして”分子をつくる”実験化学.
26	羽柴 公博 准教授	資源イノベーションエンジニアリング:採鉱システムの高度化(高速掘進システム, 海底鉱物資源の開発システム), 資源開発における不確実性リスクの低減, 地下構造物の長期利用システムの開発(将来予測, 長期挙動評価), ジオメカニカルモデリングとシミュレーション.
27	福井 勝則 教授	安心安全な社会を目指した資源開発システム(海底鉱物資源の開発など)の創成と環境保全, 地下空間工学, 岩盤工学(数値モデリング・計算), 開発・建設機械の高効率化(大規模施工データの解析).
28	藤井 秀樹 講師	ハイパフォーマンスコンピューティング技術を活用した大規模知的マルチエージェント交通流シミュレーションの研究開発と仮想社会実験. シミュレーションにもとづく社会システムの理解と意思決定支援. (吉村忍教授・山田知典准教授と共同で研究指導を行う)
29	増田 昌敬 教授 (人工物工学研究センター)	エネルギー資源開発における技術革新:メタンハイドレート資源の開発技術(CO ₂ 圧入によるメタン増進回収プロセス, 数値シミュレータの開発), デジタルオイル技術(シェールガスの資源量評価, 低塩分濃度水による石油増進回収法の設計などへの分子動力学計算の応用)
30	宮本 英昭 教授	①最新の科学的知見に基づく宇宙資源の研究, ②はやぶさ2, MMX(火星衛星サンプルリターン計画)等の太陽系探査計画の推進と関連した探査データの解析, ③惑星地下探査技術の開発, ④宇宙ミュージアム TeNQ などを利用した学術普及活動と大型プロジェクトの合意形成論
31	村上 進亮 准教授	資源経済学・産業エコロジー(MFA/MSA):持続可能な資源利用, 貴金属・レアメタル類を含有する e-waste などのリサイクルと関連する社会システム・制度の評価, 天然資源開発の環境影響評価, 鉱物市場の分析(シミュレーション, 計量経済分析の双方を含む)など.
32	山田 知典 准教授	安心・安全に資する大規模計算力学シミュレーション, マルチフィジックスシミュレーション, ハイパフォーマンスコンピューティング, 先端計算機資源(世界最高水準スーパーコンピュータ「京」等)活用技術. (吉村忍教授・藤井秀樹講師と共同で研究指導を行う)
33	吉村 忍 教授	①超高速コンピュータを活用するマルチフィジックス計算力学シミュレーションと革新的人工物デザイン, ②知的マルチエージェントと経済理論によるレジリエント都市交通システムデザイン, ③大規模洋上風力発電, 石炭ガス化炉等の革新的クリーンエネルギーシステムの研究開発. (山田知典准教授・藤井秀樹講師と共同で研究指導を行う)

平成31(2019)年度 東京大学大学院工学系研究科入学試験受験者心得

1. 試験日

平成30年8月27日(月)～8月31日(金)

(各科目等の試験時間・場所の詳細は、志望専攻の「専攻入試案内書」を参照すること。)

2. 試験場

東京大学大学院工学系研究科(東京都文京区本郷7-3-1)試験場案内図参照

(1) 各自が受験すべき科目の試験室については、平成30年8月24日(金)午前10時に工学系研究科掲示板及び各専攻掲示板に掲示するので、予め試験室を確認しておくこと。また、各専攻の掲示板等も必ず確認すること。

TOEFL ITP 試験を受験する者は、別紙「外国語試験(TOEFL ITP)受験案内」も参照すること。なお、受験者によっては、外国語試験(TOEFL ITP)と一般教育科目(一般学術)及び専門科目(専門学術)の試験室が異なる場合があるので、注意すること。

(2) 受験者は、試験開始時刻の15分前までに所定の試験室に入室すること。なお、専門科目(専門学術)試験については、専攻において別に指示することもある。

3. 携行品

(1) 受験票

(2) 黒色鉛筆(又はシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り(卓上式は不可)、時計(計時機能だけのもの)

(3) 携帯電話等の電子機器類は、試験室入室前にアラームの設定を解除した上で電源を切り、カバン等に入れ、身につけないこと。携帯電話等を時計として使用することは認めない。

(4) 専門科目(専門学術)試験の携行品については、専攻において別に指示することもある。

4. 一般教育科目(一般学術)試験時の留意事項

(1) 試験開始後は、解答が終わった場合でも、また、受験を放棄する場合でも退室を許さない。

(2) 試験時間中、受験票を常に机の上に置くこと。

(3) 一般教育科目(一般学術)試験においては、解答用紙ごとに受験番号を記入すること。氏名は書いてはならない。1問ごとに必ず1枚の解答用紙を使用すること。書ききれない場合は、裏面を使用してもよい。試験終了後、解答用紙上部の指定箇所を正しく切り取ること。

(4) 解答用紙及び問題冊子は、持ち帰ってはならない。

5. 博士課程第2次試験

博士課程第2次試験は、原則として平成31年1月下旬から2月中旬とし、期日・場所は追って通知する。

6. その他

(1) 合格者は、平成30年9月6日(木)午後4時、工学系研究科掲示板に掲示する。また、平成30年9月7日(金)までに本研究科 Web サイトに掲示する。Web サイトへの掲載時刻は上記の掲示板への掲示より後となる。

(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/index.html> からリンクする。)

(2) 合格者については、翌日付で、合格通知書を本人あてに郵送する。電話、FAX、メール等による合否の照会には応じない。

(3) 出願以後において、現住所、受信場所等に変更が生じた場合には、速やかに届け出ること。

(4) 問合せ先：東京大学大学院工学系研究科学務課大学院チーム(03-5841-6038,7747)

Notice for Examination ~The 2019 Master's / Doctoral Program Graduate School of Engineering the University of Tokyo~

1. Examination Dates

Examinations will be held over five days, from August 27 (Monday) through 31 (Friday), 2018.

(For details on times and location of the examination subjects, refer to "Guide to Entrance Examination" of the department you are applying to.)

2. Examination Location

Refer to the "Campus Map for the Examination" [see the attached paper].

(1) The actual place of the examination subjects for applicants will be posted on the bulletin board for School of Engineering and each department at 10:00 a.m. on August 24 (Friday), 2018.

Confirm the specified place for the examination subjects beforehand. In addition, confirm the bulletin board for the department you are applying to.

Applicants registered for the examination of TOEFL ITP must refer to the "Guide for Applicants Taking the Examination of TOEFL ITP" [see the attached paper]. Note that the examination room of TOEFL ITP, Regular education subjects(一般教育科目(一般学术)), and specialized subjects(専門科目(専門学术)) may differ.

(2) Applicants should arrive at the specified place for the examination subjects 15 minutes prior to the scheduled examination time.

For the examination of specialized subjects(専門科目(専門学术)), also refer to notice by the department you are applying to.

3. Items to Bring

(1) Examination admission card

(2) Black pencils (or black mechanical pencils), an eraser, a pencil sharpener (a desktop type is not allowed) and a watch (only with a time measurement function is allowed).

(3) **Use of electronic devices such as cell phones is strictly prohibited throughout the examination, even if you only use it as a watch. Make sure to completely deactivate the alarm setting, turn off the phone power, and put it in your bag before you enter the examination room. Do not take it out in the examination room.**

(4) For the item to bring for the examination of specialized subjects(専門科目(専門学术)), refer to notice by the department you are applying to.

4. Notice during Examination of Regular Education Subjects (一般教育科目(一般学术))

(1) Applicants can not leave the examination room after the start of the examination.

(2) The Examination admission card must be kept on your desk at all times during the examination.

(3) For the examination of regular education subjects(一般教育科目(一般学术)), applicants must write his/her examinee number on each answer sheet, not his/her name. Applicants must use one answer sheet for each problem. Applicants can use the reverse side if necessary. At the end of the examination, follow your proctor's instructions and carefully tear off the designated places.

(4) Applicants can not take away the answer sheets and the problem booklets after the examination.

5. The Secondary Examination for Applicants to the Doctoral Program

The secondary examination will be held between late January and mid-February, 2019.

Applicants will be advised of Examination dates and location regarding secondary examinations for the department you are applying to later.

6. Miscellaneous

(1) The Examinee Numbers of successful applicants will be posted on the School of Engineering bulletin board at 4:00 p.m. on September 6 (Thursday), 2018.

The Examinee Numbers of successful applicants will be posted on the web site of the School of Engineering by September 7 (Friday), 2018, as well. It will be next from the post time to the bulletin board mentioned above. (The page will be linked from <http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/index.html>).

(2) Successful applicants will be notified of authorization for admission by mail from the day following the announcement of successful applicants. The School will not accept telephone calls, fax, e-mail, and other inquiries regarding the results of the examinations.

(3) After the application process is complete, applicants must report immediately in case of change of current address or contact.

(4) For inquiries, contact: Graduate School Team, Administrative Division, School of Engineering, the University of Tokyo (03-5841-6038,7747)

試験場案内(東京大学本郷キャンパス)
Campus Map for the Examination
 (Hongo campus, the University of Tokyo)

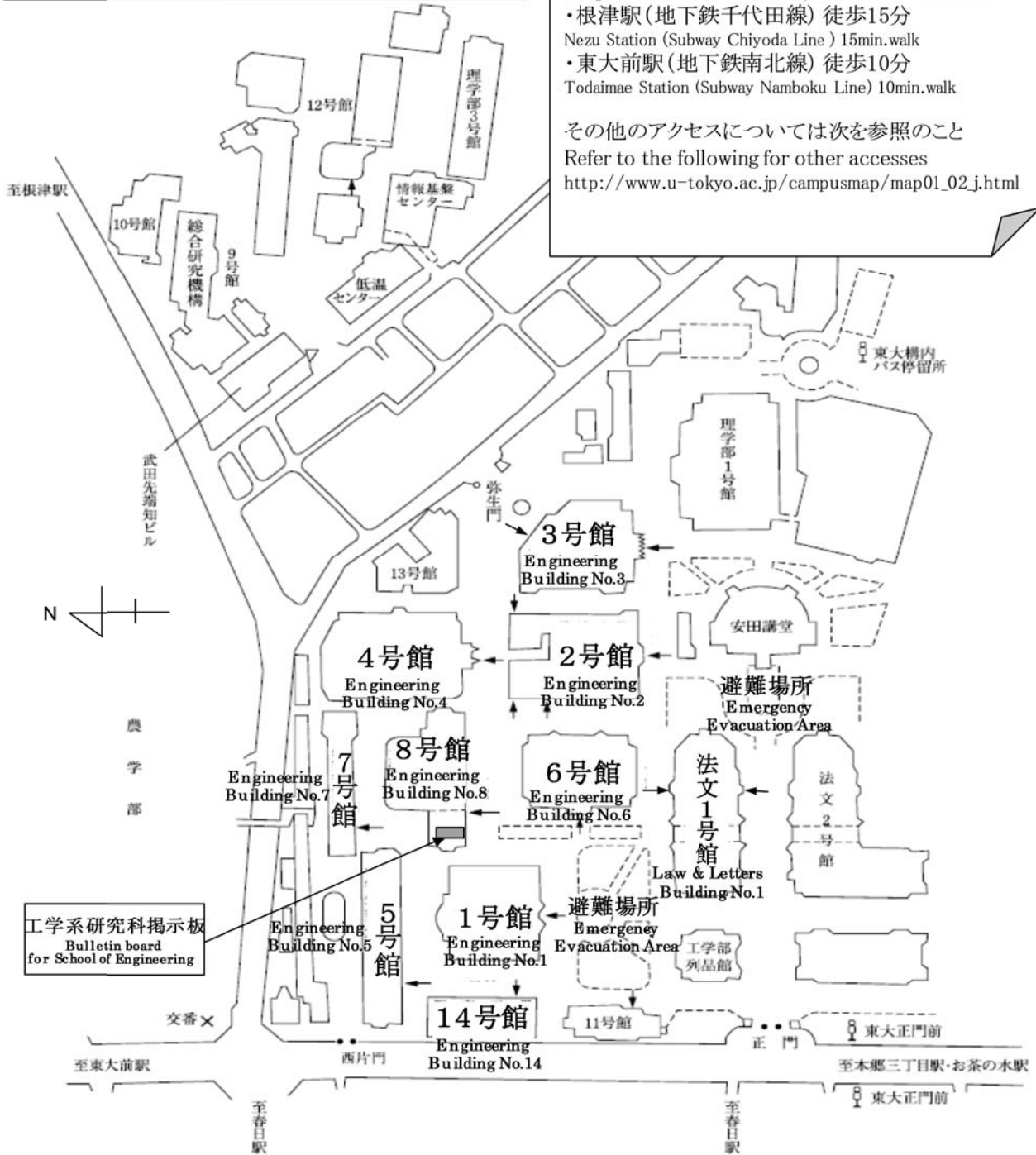
地下鉄利用 Subway

- ・本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩20分
 Hongo-sanchome Station (Subway Marunouchi Line) 20min.walk
- ・本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩20分
 Hongo-sanchome Station (Subway Oedo Line) 20min.walk
- ・根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩15分
 Nezu Station (Subway Chiyoda Line) 15min.walk
- ・東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
 Todaimae Station (Subway Namboku Line) 10min.walk

その他のアクセスについては次を参照のこと

Refer to the following for other accesses

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html



平成31（2019）年度
東京大学大学院工学系研究科 システム創成学専攻
専攻入試案内書

問い合わせ先

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院工学系研究科
システム創成学専攻事務室（工学部3号館2階225号室）
電話（03）5841-6533, FAX（03）5841-0652

専攻ホームページ <http://www.sys.t.u-tokyo.ac.jp>